



P E R S O L

# 2019年3月期 連結決算概要

パーソルホールディングス株式会社

2019年5月15日

# 2019年3月期 連結業績サマリー



既存事業の安定成長とM&A効果により、売上高は+28.2%の増収となり、同期間で過去最高を更新  
国内の人材派遣・人材紹介、海外のPERSOLKELLY事業が牽引

(単位：百万円)

	2018年3月期		2019年3月期			2019年3月期 業績予想	
	通期	構成比 (%)	通期	構成比 (%)	成長率 (%)	通期	達成率 (%)
売上高	722,183	100.0	925,818	100.0	+28.2	940,000	98.5
売上総利益	167,438	23.2	206,517	22.3	+23.3	-	-
EBITDA*	48,026	6.7	59,972	6.5	+24.9	56,500	106.1
営業利益	36,068	5.0	44,111	4.8	+22.3	42,500	103.8
親会社株主帰属 当期純利益	7,769	1.1	24,361	2.6	+213.5	21,800	111.7

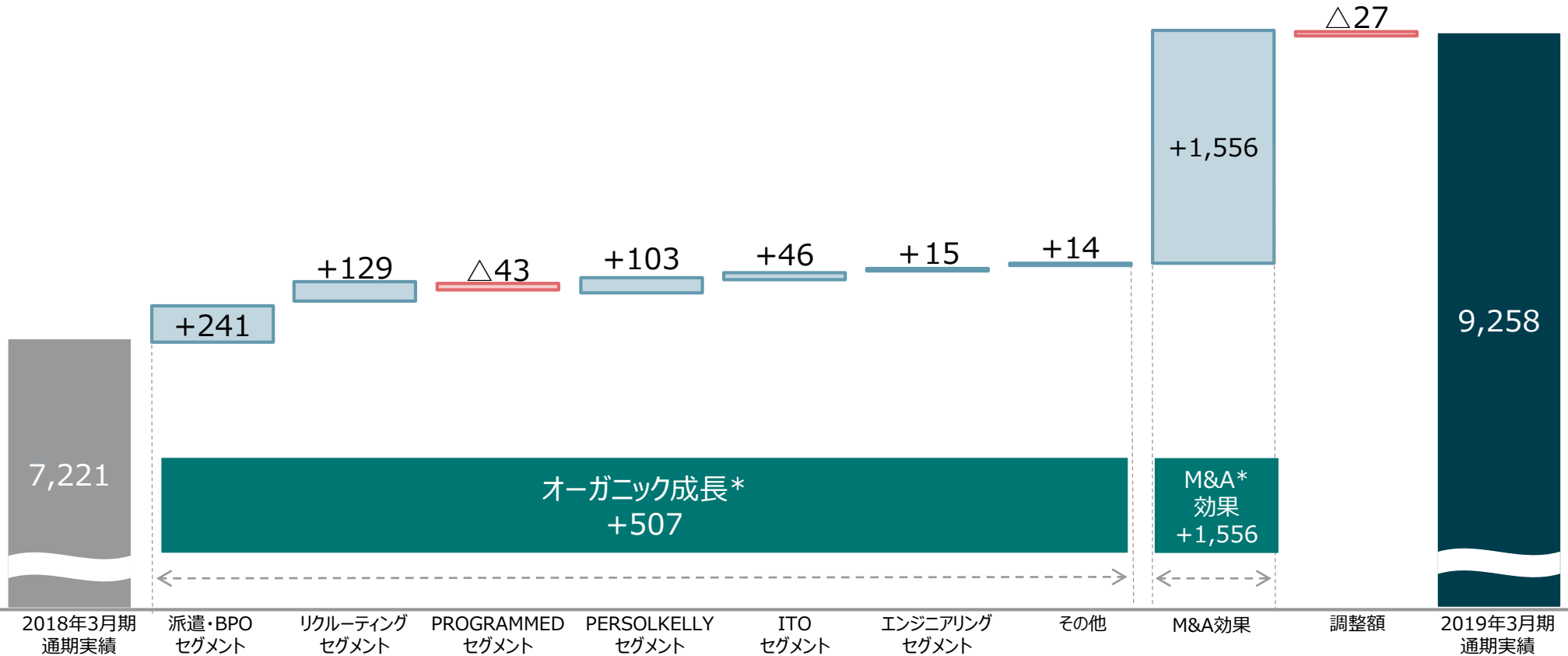
\*億円、百万円未満は切捨てて表示しております（次ページ以降同様）

\*EBITDA = 営業利益+減価償却費+のれん償却額（次ページ以降同様）

# 2019年3月期 売上高分析

既存事業のオーガニック成長は+7.0%であることに加え、PROGRAMMED等のM&A効果により、売上高は+28.2%成長

(単位：億円)



\*M&A対象会社 (カッコ内は連結業績寄与開始年月) : Programmed Maintenance Services Limited (2018年1月)、アヴァンティスタッフ (2019年1月)  
 \*M&A効果 : M&Aによる純増金額を示しております (数値は内部取引消去前となります)  
 \*オーガニック成長 (または既存事業) : M&Aによる純増金額を除いた増加額を示しております (数値は内部取引消去前となります)  
 \*BPO = Business Process Outsourcing (業務プロセスの委託)、ITO = IT Outsourcing (ITアウトソーシング) (次ページ以降同様)

# 2019年3月期 セグメント別売上高

引き続き旺盛な需要を受け、各セグメント売上高は伸長

(単位：百万円)

	2018年3月期	2019年3月期		2019年3月期 業績予想	
	通期	通期	成長率 (%)	通期	達成率 (%)
派遣・BPO	481,071	509,538	+5.9	520,000	98.0
リクルーティング	72,841	85,826	+17.8	84,000	102.2
PROGRAMMED*	54,512	201,476	-	215,000	93.7
PERSOLKELLY	65,774	76,106	+15.7	68,000	111.9
ITO	28,988	33,644	+16.1	33,000	102.0
エンジニアリング	27,795	29,357	+5.6	30,000	97.9
その他	4,339	5,751	+32.5	5,000	115.0
調整額	△13,140	△15,883	-	△15,000	-
合計	722,183	925,818	+28.2	940,000	98.5

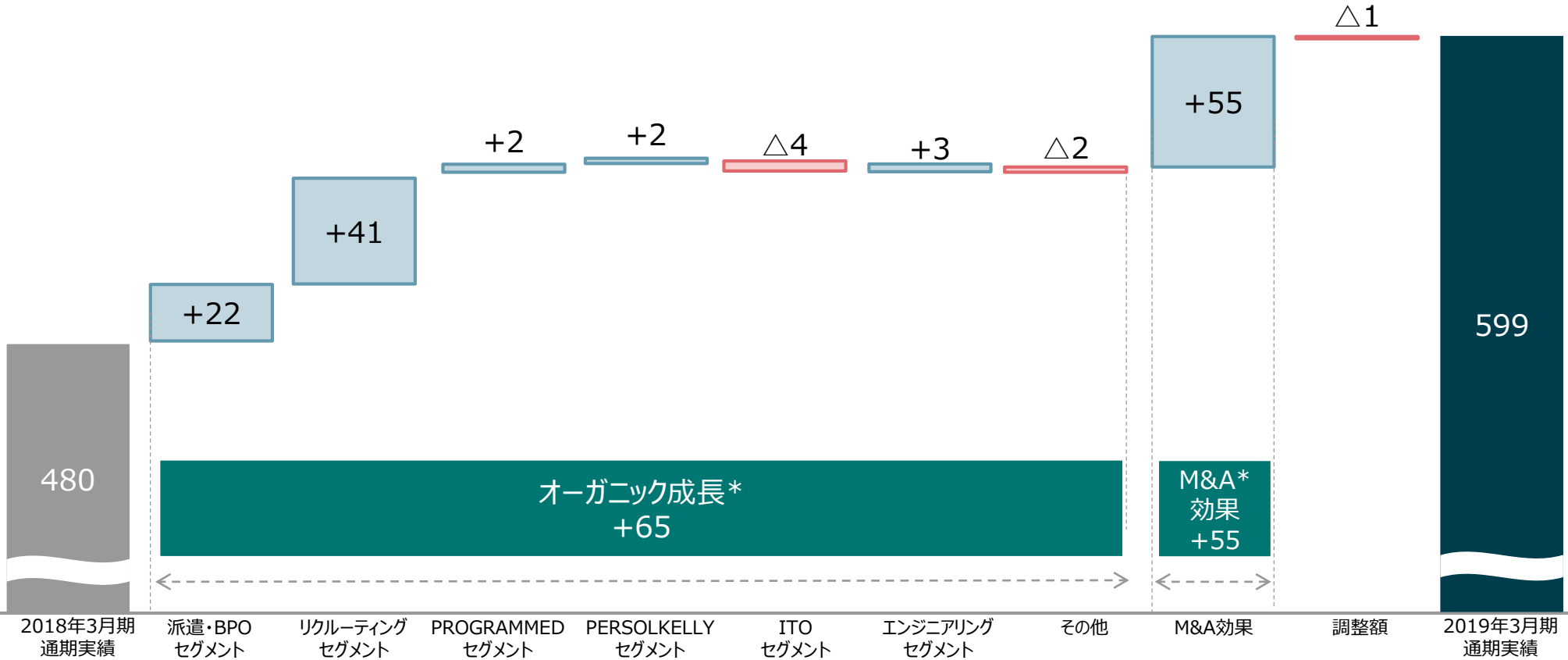
\*PROGRAMMEDセグメント：PROGRAMMED社の決算日は当社と3か月異なり、企業結合のみなし取得日を平成29年9月30日としているため、2018年1月より業績貢献しています

\*数値は内部取引消去前となります

# 2019年3月期 EBITDA分析

既存事業のオーガニック成長は+13.7%であることに加え、PROGRAMMED等のM&A効果により、EBITDAは+24.9%成長

(単位：億円)



\*M&A対象会社 (カッコ内は連結業績寄与開始年月)

: Programmed Maintenance Services Limited (2018年1月) (なお、2018年3月期3Qに株式取得関連費用8億円を計上しております)、アヴァンティスタッフ (2019年1月)

\*M&A効果

: M&Aによる純増金額を示しております (数値は内部取引消去前となります)

\*オーガニック成長 (または既存事業)

: M&Aによる純増金額を除いた増加額を示しております (数値は内部取引消去前となります)

# 2019年3月期 セグメント別EBITDA

派遣・BPO、リクルーティングのオーガニック成長が牽引

(単位：百万円)

	2018年3月期	2019年3月期		2019年3月期 業績予想	
	通期	通期	成長率 (%)	通期	達成率 (%)
派遣・BPO	25,590	27,925	+9.1	27,700	100.8
リクルーティング	14,274	18,382	+28.8	16,900	108.8
PROGRAMMED*	1,054	6,721	-	6,500	103.4
PERSOLKELLY	1,094	1,348	+23.2	1,200	112.4
ITO	2,930	2,490	△15.0	2,100	118.6
エンジニアリング	2,982	3,367	+12.9	3,100	108.6
その他	△254	△476	△46.7	△200	-
調整額	353	213	-	△800	-
合計	48,026	59,972	+24.9	56,500	106.1

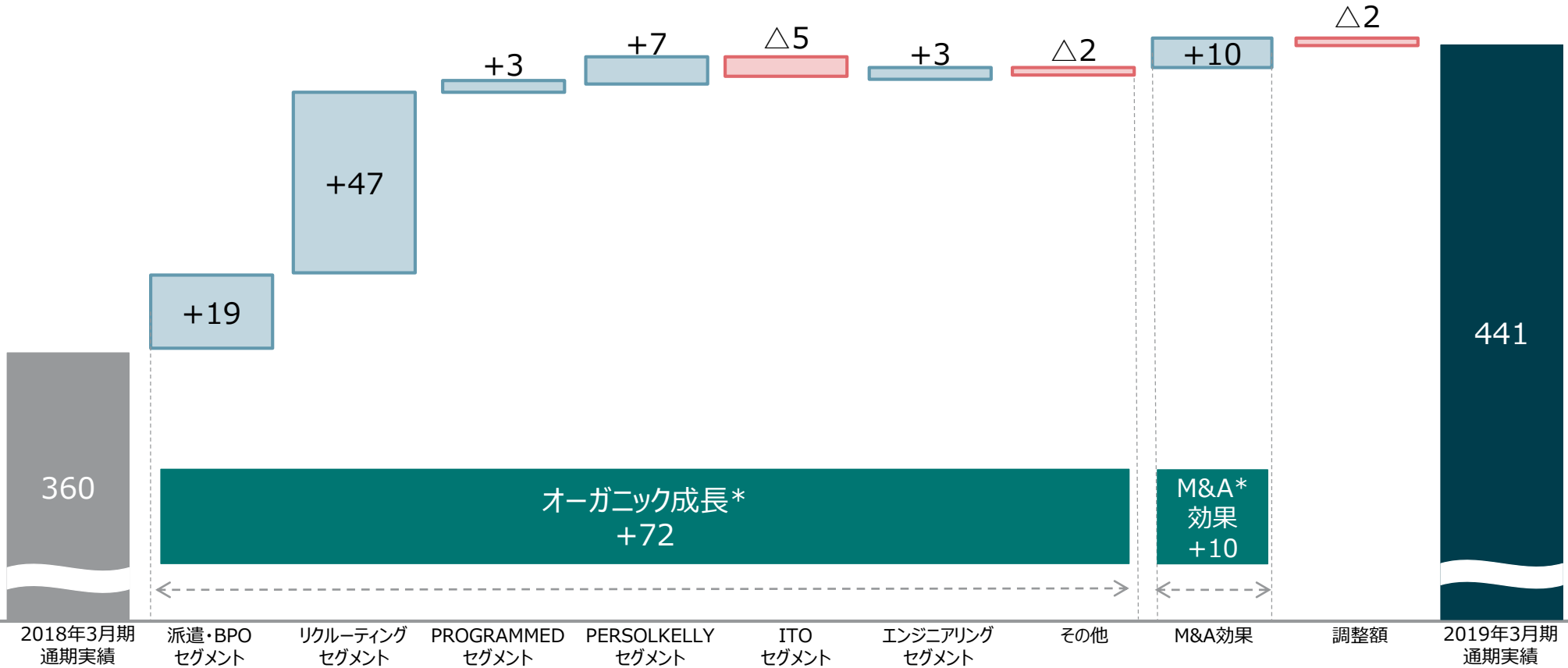
\*PROGRAMMEDセグメント：PROGRAMMED社の決算日は当社と3か月異なっており、企業結合のみなし取得日を2017年9月30日としているため、2018年1月より業績貢献しています  
 なお、2018年3月期3Qに株式取得関連費用8億円を計上しております

\*数値は内部取引消去前となります

# 2019年3月期 営業利益分析

派遣・BPO、リクルーティングのオーガニック成長が牽引し、営業利益は+22.3%成長

(単位：億円)



\*M&A対象会社 (カッコ内は連結業績寄与開始年月)

\*M&A効果

\*オーガニック成長 (または既存事業)

: Programmed Maintenance Services Limited (2018年1月) (なお、2018年3月期3Qに株式取得関連費用8億円を計上しております)、アヴァンティスタッフ (2019年1月)

: M&Aによる純増金額を示しております (数値は内部取引消去前となります)

: M&Aによる純増金額を除いた増加額を示しております (数値は内部取引消去前となります)

# 2019年3月期 セグメント別営業利益

派遣・BPO、リクルーティングのオーガニック成長が牽引



(単位：百万円)

	2018年3月期	2019年3月期		2019年3月期 業績予想	
	通期	通期	成長率 (%)	通期	達成率 (%)
派遣・BPO	22,122	23,991	+8.5	23,900	100.4
リクルーティング	10,810	15,555	+43.9	14,300	108.8
PROGRAMMED*	△507	841	-	1,100	76.5
PERSOLKELLY	△190	548	+388.6	700	78.4
ITO	2,263	1,702	△24.8	1,500	113.5
エンジニアリング	2,365	2,762	+16.8	2,700	102.3
その他	△322	△558	△42.3	△250	-
調整額	△472	△732	-	△1,450	-
合計	36,068	44,111	+22.3	42,500	103.8

\*PROGRAMMEDセグメント：PROGRAMMED社の決算日は当社と3か月異なっており、企業結合のみなし取得日を2017年9月30日としているため、2018年1月より業績貢献しています  
 なお、2018年3月期3Qに株式取得関連費用8億円を計上しております

\*数値は内部取引消去前となります



# 2019年3月期 連結貸借対照表

(単位：百万円)	2018年3月期末		2019年3月期末		
	実績	構成比(%)	実績	構成比(%)	増減額
資産	402,336	100.0	370,839	100.0	△31,496
流動資産	230,552	57.3	209,845	56.6	△20,707
(現金及び預金)	89,624	22.3	69,029	18.6	△20,595
固定資産	171,783	42.7	160,994	43.4	△10,789
(商標権・のれん)	113,265	28.2	101,832	27.5	△11,433
負債	242,343	60.2	199,914	53.9	△42,429
流動負債	217,102	54.0	144,919	39.1	△72,182
(1年内返済予定の借入金)	89,928	22.4	15,045	4.1	△74,882
固定負債	25,241	6.3	54,995	14.8	29,753
(長期借入金)	15,713	3.9	25,748	6.9	10,035
(社債)	-	-	20,000	5.4	20,000
純資産	159,992	39.8	170,925	46.1	10,932
自己資本	145,537	36.2	155,593	42.0	10,055
(資本金)	17,467	4.3	17,479	4.7	12
(資本剰余金)	20,182	5.0	20,396	5.5	213
(利益剰余金)	105,993	26.3	125,677	33.9	19,683
非支配株主持分	14,455	3.6	15,331	4.1	876

＜商標権・のれん＞  
償却・為替換算による減少

＜流動資産・流動負債・固定負債＞  
短期借入金について、一部を現金返済、  
残りを社債発行および長期借入金により  
ファイナンス（長期化）

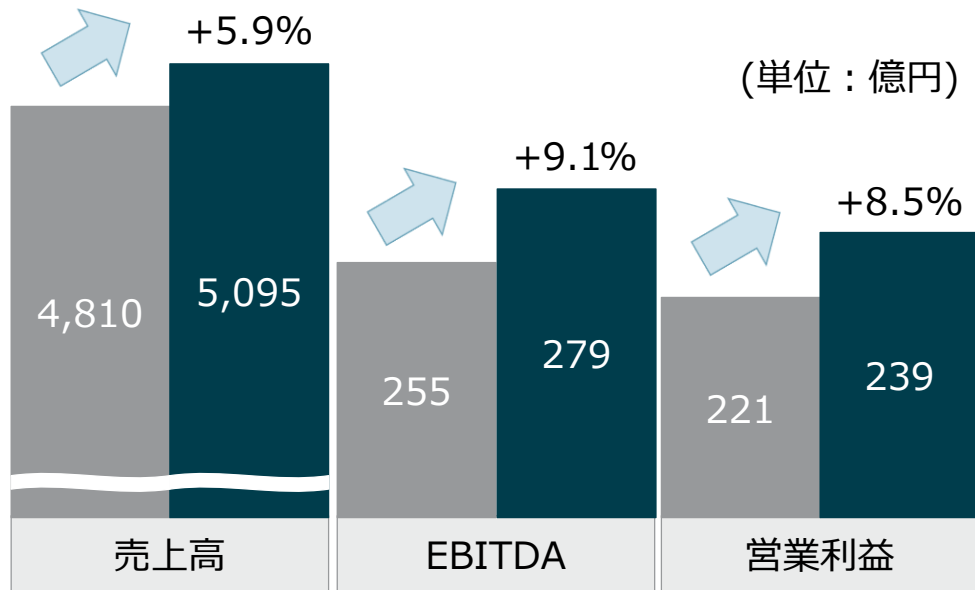
＜利益剰余金＞  
利益増による増加

\*『税効果会計に係る会計基準』の一部改正等を2019年3月期第1四半期より適用しており、前期期末の実績については再計算後の実績を表記しています

# 2019年3月期 連結キャッシュフロー計算書

(単位：百万円)	2018年3月期	2019年3月期		主な増減要因
	通期	通期	増減額	
営業活動による キャッシュ・フロー	35,003	42,353	7,350	利益の増加および 売上債権・営業債務の増減
投資活動による キャッシュ・フロー	△66,732	△15,141	51,591	海外における大型M&Aの減少
財務活動による キャッシュ・フロー	50,186	△48,165	△98,351	短期借入金のリファイナンス(長期化)に 伴う、短期借入金の減少、および長期 借入金・社債の増加
現金及び現金同等物の 増減額	20,184	△20,596	△40,780	
現金及び現金同等物の 期末残高	89,566	68,969	△20,596	

# 2019年3月期 セグメント別業績推移① 派遣・BPOセグメント



## 2019年3月期 ハイライト

- 働き方改革、慢性的な人手不足を背景に派遣需要は高水準
- 法改正対応の影響があったものの需要の強さを背景に増収
- 子会社統合による費用増があったが、法改正に伴う顧客企業の直接雇用化による紹介手数料の増加や、請求単価UPにより収益性は改善（子会社統合費用なかりせば営業利益率は5.1%）
- 買収したアヴァンティスタッフが4Qより業績反映開始

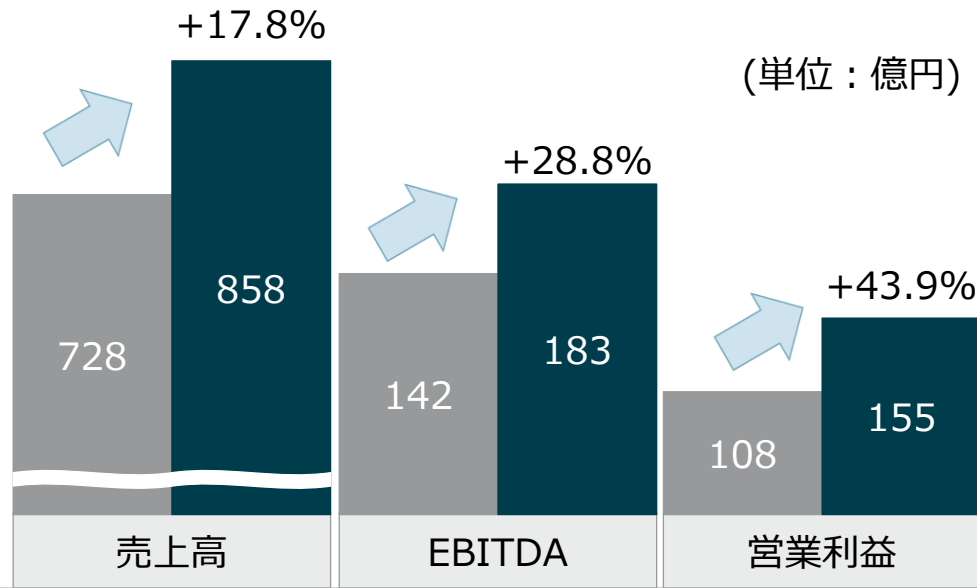
(単位：百万円)

	2018年3月期	2019年3月期		2019年3月期 業績予想	
	通期	通期	成長率 (%)	通期	達成率 (%)
売上高	481,071	509,538	+5.9	520,000	98.0
EBITDA	25,590	27,925	+9.1	27,700	100.8
EBITDAマージン(%)	5.3	5.5	-	5.3	-
営業利益	22,122	23,991	+8.5	23,900	100.4
営業利益率(%)	4.6	4.7	-	4.6	-

\*数値は内部取引消去前となります

\*数値の詳細につきましては、同日HPにて公開しております「2019年3月期 ファクトブック」をご参照下さい

# 2019年3月期 セグメント別業績推移② リクルーティングセグメント



### 2019年3月期 ハイライト

- 引き続き顧客企業の人材需要は旺盛で、人材紹介事業が業績を牽引
- 旺盛な需要に対応すべく人員増強やプロモーション強化等の積極投資を進めた結果、大きく増収増益
- 前期4Qの「an」事業の減損損失計上によるのれん償却減も収益性改善に寄与

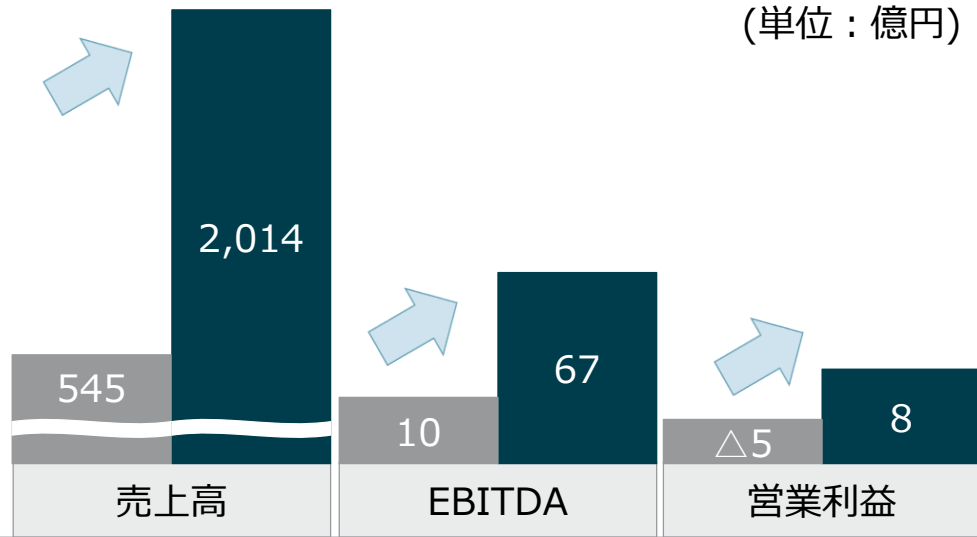
(単位：百万円)

	2018年3月期	2019年3月期		2019年3月期 業績予想	
	通期	通期	成長率 (%)	通期	達成率 (%)
売上高	72,841	85,826	+17.8	84,000	102.2
EBITDA	14,274	18,382	+28.8	16,900	108.8
EBITDAマージン(%)	19.6	21.4	-	20.1	-
営業利益	10,810	15,555	+43.9	14,300	108.8
営業利益率(%)	14.8	18.1	-	17.0	-

\*数値は内部取引消去前となります

\*数値の詳細につきましては、同日HPにて公開しております「2019年3月期 ファクトブック」をご参照下さい

# 2019年3月期 セグメント別業績推移③ PROGRAMMEDセグメント



## 2019年3月期 ハイライト

### <スタッフィング事業>

- ・ グローバリゼーション、オンライン化、自動化などの影響で、製造業や物流など一部セクターでの需要が減少するものの、インフラや建設、マイニングセクターの需要は拡大
- ・ 期初に大口契約の終了があったものの、販管費の削減により利益は堅調に推移

### <メンテナンス事業>

- ・ 取引先である政府関連の支出が減少したものの、空港や公営住宅などの新規案件の受注もあり、受注残と案件パイプラインは増加。利益も通期で堅調推移
- ・ 空港や公営住宅の新規案件は4Qから売上寄与開始

(単位：百万円)

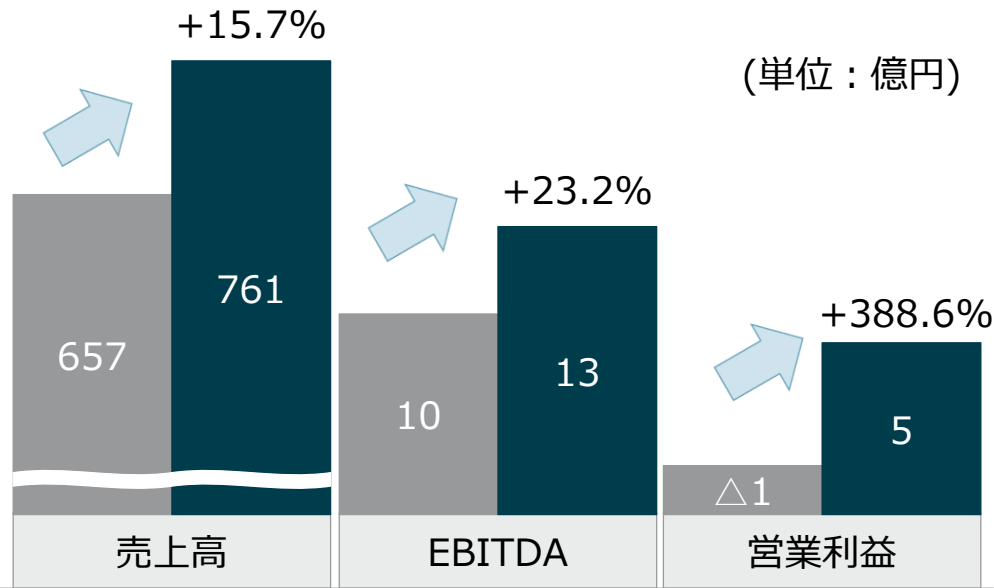
	2018年3月期	2019年3月期		2019年3月期 業績予想	
	通期	通期	成長率 (%)	通期	達成率 (%)
売上高	54,512	201,476	-	215,000	93.7
EBITDA	1,054	6,721	-	6,500	103.4
EBITDAマージン(%)	-	3.3	-	3.0	-
営業利益	△507	841	-	1,100	76.5
営業利益率(%)	-	0.4	-	0.5	-

\*2018年3月期3Qに株式取得関連費用8億円を計上しております

\*数値は内部取引消去前となります

\*数値の詳細につきましては、同日HPにて公開しております「2019年3月期 ファクトブック」をご参照下さい

# 2019年3月期 セグメント別業績推移④ PERSOLKELLYセグメント



## 2019年3月期 ハイライト

- 引き続きAPAC各国の好調な市場環境を背景に、売上は伸長。主にシンガポール・中国の人材紹介事業が業績を牽引し、営業利益の黒字化を達成
- 旺盛な需要に対応すべく積極的な人員増強および、各拠点共通のシステム導入を順次進め生産性向上を図るべく積極投資を実施

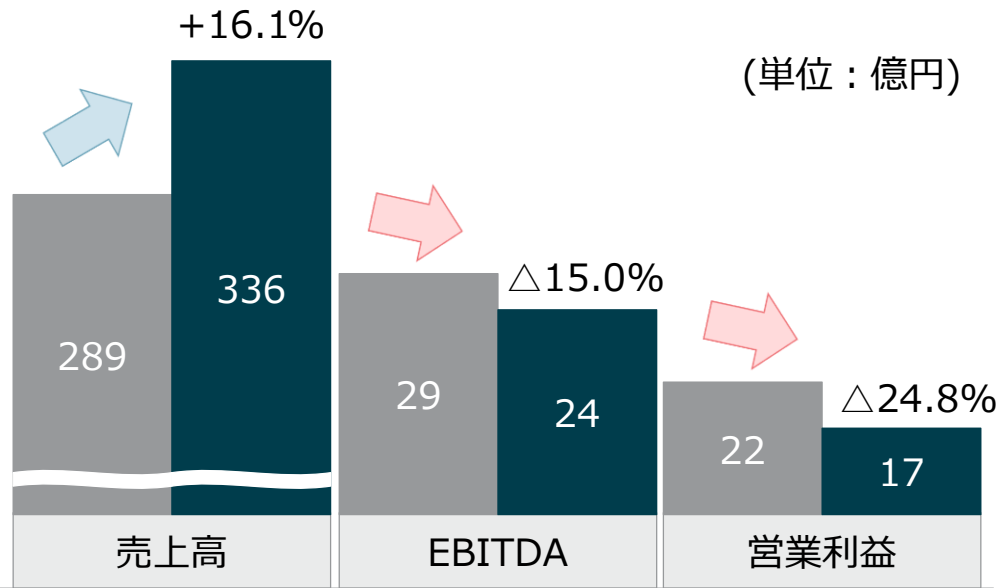
(単位：百万円)

	2018年3月期	2019年3月期		2019年3月期 業績予想	
	通期	通期	成長率 (%)	通期	達成率 (%)
売上高	65,774	76,106	+15.7	68,000	111.9
EBITDA	1,094	1,348	+23.2	1,200	112.4
EBITDAマージン(%)	1.7	1.8	-	1.8	-
営業利益	△190	548	+388.6	700	78.4
営業利益率(%)	△0.3	0.7	-	1.0	-

\*数値は内部取引消去前となります

\*数値の詳細につきましては、同日HPにて公開しております「2019年3月期 ファクトブック」をご参照下さい

# 2019年3月期 セグメント別業績推移⑤ ITOセグメント



## 2019年3月期 ハイライト

- 企業におけるシステム関連サービス等への投資意欲は堅調に推移
- SI関連サービス、高付加価値のアウトソーシングサービスの増加に加え、働き方改革を背景に、生産性向上に関するRPA導入支援やコンサルティングサービスが伸長し増収
- 社員の待遇改善に伴うコスト増の中、収益性は前年比で低下するも、単価改善等を押し進めた結果、営業利益も計画を超えて着地。なお、待遇改善により社員の退職率・採用力ともに良化

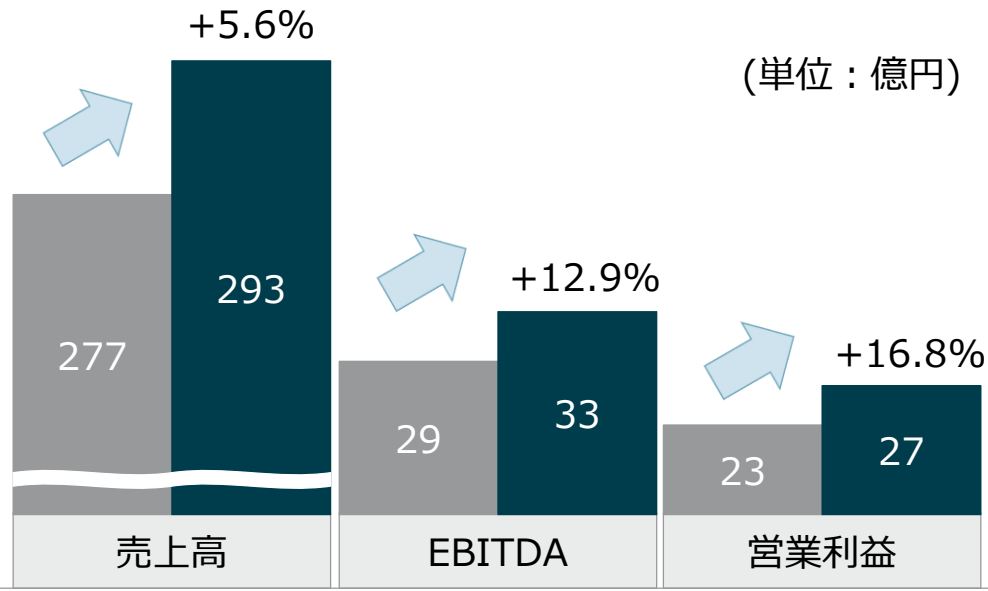
(単位：百万円)

	2018年3月期	2019年3月期		2019年3月期 業績予想	
	通期	通期	成長率 (%)	通期	達成率 (%)
売上高	28,988	33,644	+16.1	33,000	102.0
EBITDA	2,930	2,490	△15.0	2,100	118.6
EBITDAマージン(%)	10.1	7.4	-	6.4	-
営業利益	2,263	1,702	△24.8	1,500	113.5
営業利益率(%)	7.8	5.1	-	4.5	-

\*数値は内部取引消去前となります

\*数値の詳細につきましては、同日HPにて公開しております「2019年3月期 ファクトブック」をご参照下さい

# 2019年3月期 セグメント別業績推移⑥ エンジニアリングセグメント



### 2019年3月期 ハイライト

- 一部家電領域の取引が弱含んだものの、自動車、建機領域の引き合いは引き続き強く、売上高は堅調に推移
- 継続的な生産性向上の活動の成果により利益額、利益率ともに堅調に増加
- 更なる事業領域の拡大を目指し、営業機能強化と積極的な人材採用やパートナー活用を継続的に推進

(単位：百万円)

	2018年3月期	2019年3月期		2019年3月期 業績予想	
	通期	通期	成長率 (%)	通期	達成率 (%)
売上高	27,795	29,357	+5.6	30,000	97.9
EBITDA	2,982	3,367	+12.9	3,100	108.6
EBITDAマージン(%)	10.7	11.5	-	10.3	-
営業利益	2,365	2,762	+16.8	2,700	102.3
営業利益率(%)	8.5	9.4	-	9.0	-

\*数値は内部取引消去前となります

\*数値の詳細につきましては、同日HPにて公開しております「2019年3月期 ファクトブック」をご参照下さい



## 2019年3月期 セグメント別業績推移⑦ その他、調整額

(単位：百万円)

その他	2018年3月期	2019年3月期		2019年3月期 業績予想	
	通期	通期	成長率 (%)	通期	達成率 (%)
売上高	4,339	5,751	+32.5	5,000	115.0
EBITDA	△254	△476	△46.7	△200	-
EBITDAマージン(%)	△5.9	△8.3	-	△4.0	-
営業利益	△322	△558	△42.3	△250	-
営業利益率(%)	△7.4	△9.7	-	△5.0	-

(単位：百万円)

調整額	2018年3月期	2019年3月期		2019年3月期 業績予想	
	通期	通期	成長率 (%)	通期	達成率 (%)
売上高	△13,140	△15,883	-	△15,000	-
EBITDA	353	213	-	△800	-
EBITDAマージン(%)	-	-	-	-	-
営業利益	△472	△732	-	△1,450	-
営業利益率(%)	-	-	-	-	-

\*数値は内部取引消去前となります

\*数値の詳細につきましては、同日HPにて公開しております「2019年3月期 ファクトブック」をご参照下さい

\*「その他」は、グループ全体の機能別役割であるシェアードサービス、教育研修、障がい者雇用・就職支援等の人材サービスで構成しております

\*「調整額」は、セグメント間取引消去、パーソルホールディングスの収益及び費用となります

# 2020年3月期 連結業績予想

(単位：百万円)

	2020年3月期 予想					
	上期	構成比 (%)	成長率 (%)	通期	構成比 (%)	成長率 (%)
売上高	483,500	100.0	+6.9	1,000,000	100.0	+8.0
EBITDA	30,200	6.2	+7.1	66,000	6.6	+10.1
営業利益	21,300	4.4	+4.1	48,000	4.8	+8.8
親会社株主帰属 当期純利益	12,000	2.5	+0.1	27,500	2.8	+12.9
【参考】のれん償却前 当期純利益	16,300	3.4	-	36,100	3.6	+9.5

※想定為替レート 1米ドル=110円、1豪ドル=80円

※のれん償却前当期純利益：親会社株主に帰属する当期純利益 + のれん償却額

# 2020年3月期 セグメント別業績予想 売上高

(単位：百万円)

	2020年3月期 予想			
	上期	成長率 (%)	通期	成長率 (%)
派遣・BPO	265,600	+6.9	549,000	+7.7
リクルーティング	47,000	+14.5	99,000	+15.3
PROGRAMMED	100,500	△1.9	204,000	+1.3
PERSOLKELLY	41,000	+13.5	84,000	+10.4
ITO	19,400	+26.2	42,000	+24.8
エンジニアリング	14,500	+6.2	31,000	+5.6
その他	5,000	+90.9	11,000	+91.3
調整額	△9,500	-	△20,000	-
合計	483,500	+6.9	1,000,000	+8.0

\*数値は内部取引消去前となります

# 2020年3月期 セグメント別業績予想 EBITDA

(単位：百万円)

	2020年3月期 予想			
	上期	成長率 (%)	通期	成長率 (%)
派遣・BPO	13,600	+4.6	30,400	+8.9
リクルーティング	10,600	+18.6	22,200	+20.8
PROGRAMMED	4,100	+28.3	8,400	+25.0
PERSOLKELLY	700	△2.9	1,500	+11.2
ITO	1,000	+22.7	3,100	+24.5
エンジニアリング	1,400	+19.2	3,500	+3.9
その他	△600	△85.9	△1,100	△56.6
調整額	△600	-	△2,000	-
合計	30,200	+7.1	66,000	+10.1

\*数値は内部取引消去前となります

# 2020年3月期 セグメント別業績予想 営業利益

(単位：百万円)

	2020年3月期 予想			
	上期	成長率 (%)	通期	成長率 (%)
派遣・BPO	11,700	+5.3	26,500	+10.5
リクルーティング	8,700	+15.1	18,200	+17.0
PROGRAMMED	300	+37.3	1,000	+18.9
PERSOLKELLY	400	+11.9	1,000	+82.2
ITO	700	+53.5	2,400	+41.0
エンジニアリング	1,100	+25.2	3,000	+8.6
その他	△600	△79.5	△1,300	△57.0
調整額	△1,000	-	△2,800	-
合計	21,300	+4.1	48,000	+8.8

\*数値は内部取引消去前となります

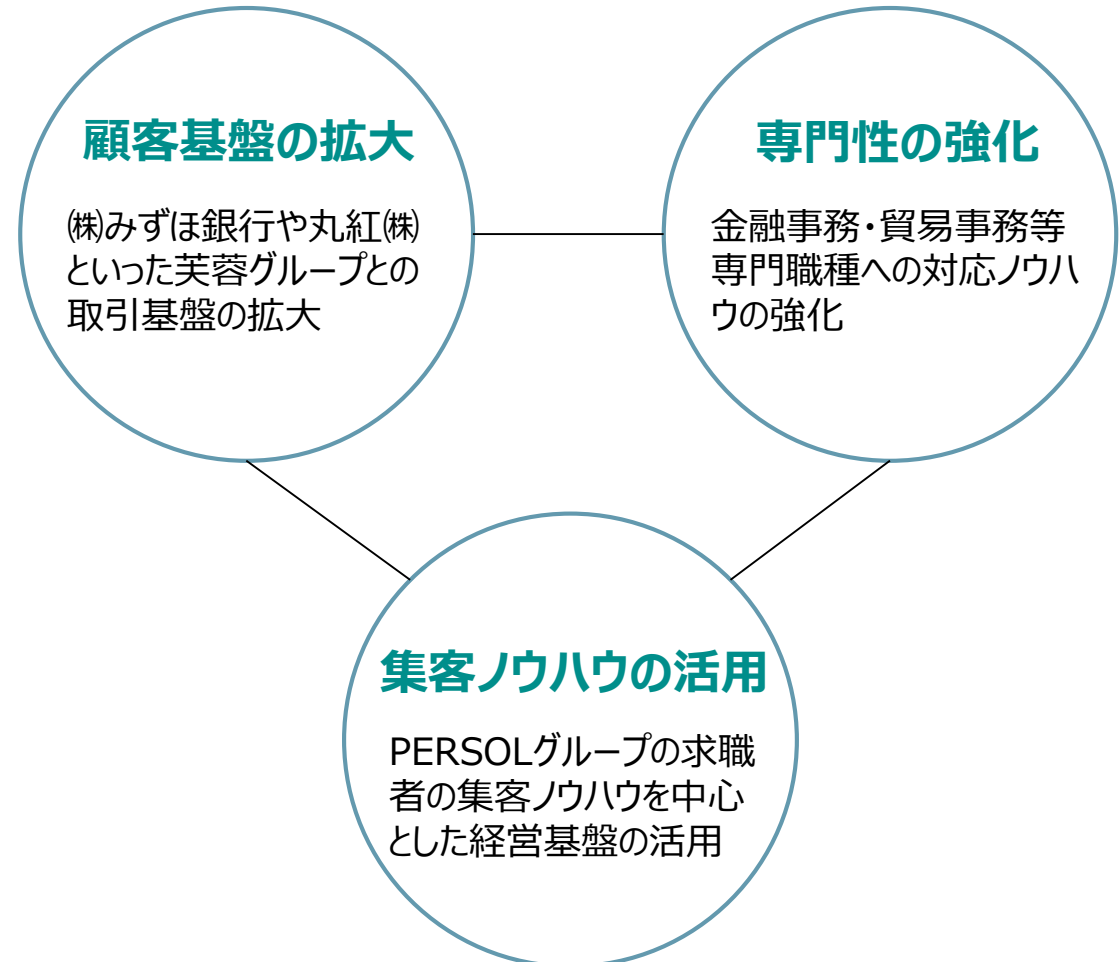
# 株式会社アヴァンティスタッフの株式取得（子会社化）について

アヴァンティスタッフが培ってきた芙蓉グループを中心とした顧客基盤および金融事務・貿易事務等専門職種への対応ノウハウと、PERSOLグループの求職者の集客ノウハウを活用し、更なる企業価値の向上を目指す

## 株式取得の概要

## 狙い

会社概要	株式会社アヴァンティスタッフ
	1984年9月設立
	日本国内において人材派遣事業、人材紹介事業、アウトソーシング事業、研修事業を展開
	売上高18,366百万円、営業利益271百万円（2018年3月期実績）
取引概要	株式譲渡日2019年1月31日
	発行済み株式の92.52%を取得
	2019年3月期4Qより業績反映開始（派遣・BPOセグメント）



## Appendix : 直近のM&Aについて

社名	Programmed Maintenance Services Limited	
設立	1992年1月	
売上高 (*1)	2,691 million AUD (*1)	
営業利益 (*1)	21 million AUD (*1)	
株式取得月	2017年10月	
業績反映開始	2018年3月期 4Q	
取得割合	100%	
取得価額	660億円 (*2)	
のれん	Staffing事業	Maintenance事業
	210.3億円	315.4億円
のれん償却期間	10年	20年
所属セグメント	PROGRAMMED	

\*1. 数値は2017年3月期のProgrammed 及び子会社の連結業績であり、営業利益は買収時に算出したのれん（暫定）および無形固定資産（計56 million AUD/年）償却後の数値となります

\*2. 1AUD = 88.15円で換算しております

## 当資料取り扱い上の注意

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が2019年5月15日現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる場合があります。

本資料に含まれる数値、指標は、当社グループの経営成績及び財政状態に関して、適切な理解を促進する事を目的として開示しており、すべての数値、指標が監査法人による監査またはレビューの対象ではない点にご留意ください。



### 2014年8月：JPX日経インデックス400の構成銘柄へ選定されました

JPX日経400とは？

日本企業の魅力を内外にアピールすることなどを目的に、資本の効率的活用や投資家を意識した経営観点など、グローバルな投資基準に求められる諸要件を満たした会社で構成される新しい株価指数です。